

避難が終われば帰るつもりで、家を小さく立て替えましたが、避難前に大病をした妻の通院や訪問看護もあつて、福島市での生活が続いています。比曽の家には、息子夫婦が暮らしています。子どもたちもそれぞれ忙しいのですが、よく立ち寄ってくれますね。



はなれていても

菅野 民雄さん(比曽 福島県福島市在住)

比曽には、比曽村の時代から、地域の人が大切にしてきた4つの神社があります。それぞれに世話役がいますが、大事なことは行政区の総会にはかかります。私は羽山神社の総代になっていて、葉山の一番上にある神社の様子がずっと気掛かりでした。かつては山仕事の人が遠くからも訪れ、お祭りには出店も出て賑わっていた山の神様です。長い避難があり、戻る人が限られ

ている中、参道が荒れて参拝できなくなっていました。何とか、皆に相談し、山の下に神社を遷すことにしました。いろいろな人の協力を得て、参道の登り口に神社を遷すことが決まりました。造りが終わり、地元の大工さんに社殿を建ててもらった段階までできました。道路に近い場所にも社殿ができれば、今度は誰でも車でお参りに行ける。そういう場所になるでしょう。

お祭りは旧暦の4月。今の暦だとちょうど田植えの頃です。避難の前に皆で集まって、羽山神社のお祭りをやって別れたことを思い出します。100戸程の家があったけれど、子どもの頃から知っていて、どこに行っても身内のようにでした。「いたか」「お茶でも飲んで行け」とやってきた。街の暮らしにはないよさがありました。慣れ親しんだ場所です。余生を過ごせたらという思いは今も胸にありますよ。



Merry Christmas!
& Happy New Year!

今年もたくさんの方々に交流センターをご利用いただき、ありがとうございます。来年もどうぞよろしくお願いたします。

交流センター「ふれ愛館」だより
今年もたくさんの方々に
ご利用を
ありがとうございました

地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー

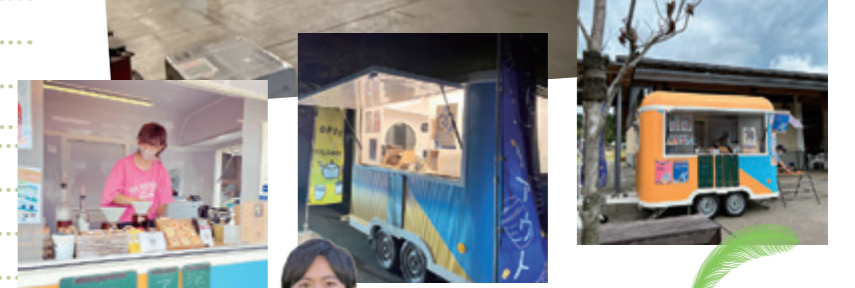
みなさんこんにちは。
協力隊2年目の松尾洋輝です。

もうすっかり寒くなりましたが、ここ数か月はさまざまなイベントに、図図倉庫トレーラーカフェとして出店させていただいておりました!

そのおかげで、少しずつですが認知度も上がってきたのかなと感じております。

11月には、図図倉庫もグランドオープンすることができ、カフェも週4回(火、水、金、土)に増えました!

お時間ある方は、ぜひ図図倉庫に足を運んでみてください!



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
松尾 洋輝さん

※図図倉庫 飯館村深谷字二本木前5-1(旧コメリ)

「芋茎(いもき) = 里芋の葉柄」を日に干した伝統食。「ずいき」「わりな」と呼ぶ地域もあります。



おいしい飯館! までの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!

野菜づくりは健康づくりでもあるそうです。様々な季節の野菜を道の駅に出しています。



齋藤タツ子さん (深谷)

水に浸して戻し、サッと湯がいてから使いましょう

いもがらを作る時は、雨に当たらないよう、霜に当たらないよう気をつけて、しっかり乾かします。この秋は晴れの日が続いたので、いもがら作りにはいい気候でしたね。我が家では、味噌汁に入れたり、炒め物にしたりして味わいます。アクがあるので、水で戻した後、サッと湯がいて水にさらしてから使います。食感が残るよう、湯がく時間は加減してください。アクが抜けたら、ブツブツ切って使います。



味噌汁に...
いもがら味出ます

味噌汁は定番ですね。水で戻して湯がいたいもがらに、ジャガイモ、油揚げなどを合わせて。味わい深い一品。



炒めても
おいしい!

千切りのダイコン、色味にニンジン、さつま揚げなどに、戻して湯がいたいもがらを加えて、炒め物に。

味付けは味噌や
醤油ベースで